

令和7年度日本大学大学院生産工学研究科
筆記試験問題の出題意図について

| | |
|--------|--------------|
| 試験方式・期 | 一般入学試験（第2期） |
| 専攻／科目 | 建築工学専攻／建築構造学 |

| |
|---|
| 大問1 |
| <p>大問1は3問の小問から構成されており、建築物を支える骨組みの種類として、建築構造学の基礎となる鉄筋コンクリート構造、木質構造、鉄骨構造の特徴を説明できるかどうか基本的な事項の理解を記述式で問う問題である。</p> <p>（1）鉄筋コンクリート構造のはりの設計についてせん断力に対する設計方法の基本的な知識を問うている。</p> <p>（2）木質構造における耐震設計において重要な役割を果たす壁量の計算方法について基本的な知識を問うている。</p> <p>（3）鉄骨構造における大ばりを断面算定する際の幅厚比および横補剛について基本的な知識を問うている。</p> |

| |
|----------------------------------|
| 大問2 |
| 建築構造力学および材料力学に関する基本的な理解を問う問題である。 |

| |
|---------------------------|
| 大問3 |
| 建築構造力学に関する基本的な理解を問う問題である。 |

令和7年度日本大学大学院生産工学研究科
筆記試験問題の出題意図について

| | |
|--------|---------------|
| 試験方式・期 | 一般入学試験（第2期） |
| 専攻／科目 | 建築工学専攻／建築防災工学 |

| |
|---------------------------------|
| 大問1 |
| 過去に日本国内で発生した災害全般に対する基礎知識を問うている。 |

| |
|--|
| 大問2 |
| 過去に日本国内だけでなく世界で発生した地震災害に対する基礎知識を問うている。 |

| |
|--|
| 大問3 |
| 振動工学ならびに地震工学で用いられる基礎的な用語に関する英語の知識を問うている。 |

| |
|-------------------------|
| 大問4 |
| 振動に関する基礎的な知識と計算力を問うている。 |

令和7年度日本大学大学院生産工学研究科
筆記試験問題の出題意図について

| | |
|--------|--------------|
| 試験方式・期 | 一般入学試験（第2期） |
| 専攻／科目 | 建築工学専攻／建築材料学 |

| |
|---|
| 大問4 |
| 建築における主要構造材料の1つである鉄鋼について、材料の種類、基礎的な物性の理解を問う。出題形式は、穴埋め問題である。 |

| |
|--|
| 大問5 |
| 建築における主要材料の1つである木材について、木材の燃焼に関する温度と現象の理解について問う。出題形式は、穴埋め問題である。 |

| |
|---|
| 大問6 |
| 建築における主要材料の1つであるガラスについて、基本的な材料特性の理解について問う。出題形式は、穴埋め問題である。 |

| |
|---|
| 大問7 |
| 建築における主要材料であるシーリング材について、材料の種類や目地の理解について問う。 出題形式は、穴埋め問題である。 |

| |
|------------------------------------|
| 大問8 |
| 各種建築材料の密度の理解について問う。出題形式は、穴埋め問題である。 |

令和7年度日本大学大学院生産工学研究科
筆記試験問題の出題意図について

| | |
|--------|-------------|
| 試験方式・期 | 一般入学試験（第2期） |
| 専攻／科目 | 建築工学専攻／建築計画 |

| |
|---|
| 大問1 |
| この設問は記述式の設問で、持続可能な社会における建築の理念や手法に関する知識を評価するために出題した。 |

| |
|---|
| 大問2 |
| この設問は記述式の設問で、近代建築の考え方が集約されたドミノシステムの意義に関する理解度を評価するために出題した。 |

| |
|--|
| 大問3 |
| この設問は記述式の設問で、今年度の大学共通テスト「公共・倫理」で出題された「公共空間」の成立について、社会学的見地での理解度を評価するために出題したものである。 |

| |
|---|
| 大問4 |
| この設問は記述式の設問で、少子高齢化が進み財政難の地方自治体において大きな課題となっている公共施設再編問題にあたり、地方自治体が市民に対して提供すべき最低限の生活環境基準の理解度を評価するために出題したものである。 |

令和7年度日本大学大学院生産工学研究科
筆記試験問題の出題意図について

| | |
|--------|-------------|
| 試験方式・期 | 一般入学試験（第2期） |
| 専攻／科目 | 建築工学専攻／都市計画 |

| |
|---|
| 大問1 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 穴埋め式の問題形式・ 都市計画の成り立ち，基本的な概念，歴史の変遷，現代的課題などに関する理解・ 都市計画に関連する基礎的な知識を問う |

| |
|--|
| 大問2 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 記述式の問題形式・ 都市計画に関する具体的な手法に関する理解・ 都市計画の手法に関する基礎的な知識を問う |

| |
|--|
| 大問3 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 記述式の問題形式・ 都市計画に関する具体的な用語（英語）に関する理解・ 都市計画の用語（英語）に関する基礎的な知識を問う |

令和7年度日本大学大学院生産工学研究科
筆記試験問題の出題意図について

| | |
|--------|------------------------|
| 試験方式・期 | 一般入学試験（第2期） |
| 専攻／科目 | 建築工学専攻／建築環境工学（建築設備を含む） |

| |
|--|
| 大問1 |
| <p>建築環境工学（建築設備を含む）分野の基礎的な用語、現象、指標、計算、設計手法などについて幅広く問う穴埋め問題です。音環境、熱環境、空気環境、光環境、色彩、環境負荷評価など、学部教育で修得すべき重要トピックを網羅しています。</p> <p>各設問では、用語や定義の暗記だけでなく、現象の意味や物理的原理、設計上の配慮、環境配慮型建築への応用など、「理論と実践を結びつける基礎力と応用力」を評価することを目的としています。</p> |